

# ラッキョウ新品種 ‘プリティピンク’、‘プリティパール’

## 1 新しい品種の内容

### (1) 背景・目的

バイオテクを利用した乾腐病に強いラッキョウ新品種開発の取り組みの中で、花としての観賞価値が高い系統を選抜し、‘プリティピンク’及び‘プリティパール’という名称で品種登録出願したので、その特性について紹介する。

### (2) ‘プリティピンク’及び‘プリティパール’の要約

- 1) ‘プリティピンク’は花色がピンク色で、‘プリティパール’は花色が淡いピンク色である。
- 2) 両品種とも、ラッキョウ栽培種のラクダ系と比較し、小花数が約2倍多く、花にボリューム感がある。
- 3) 両品種とも、花茎が短く、花壇苗・鉢物向けである。
- 4) 両品種とも、開花日はラクダ系より5日程度遅い。
- 5) 両品種とも、食用は可能で、ラクダ系と同程度の食味である。

## 2 試験成果の概要

### (1) ‘プリティピンク’及び‘プリティパール’の育成経過

1998年 ラッキョウ栽培種ラクダ系とラッキョウ野生種コシキジマラッキョウを人工交配し、子房培養して約200系統の交雑種を獲得した。

2003年 交雑種の中から花色および花容の優れる20系統を選抜した。

2013年 県内の花き生産者から「栽培したい」との要望があり、選抜系統の中から花茎が短く、花壇苗・鉢物向けとして期待できる2系統（‘プリティピンク’および‘プリティパール’）を品種登録出願した。

### (2) ‘プリティピンク’および‘プリティパール’の特性

ビニールハウス内でポット栽培した場合の‘プリティピンク’および‘プリティパール’の花の特性は、ラッキョウ栽培系統の‘ラクダ系’と比較して花茎の長さが半分程度の約15cmと短く、小花数が約2倍で花にボリューム感がある（表1）。開花日は‘ラクダ系’より5日程度遅い（表1）。観賞期間は‘ラクダ系’と同様に1週間程度である。

### (3) ‘プリティピンク’および‘プリティパール’の栽培・出荷について

‘プリティピンク’および‘プリティパール’は、ポットおよび地植え（砂地、黒ボク）で栽培することが可能である。露地で栽培した場合、出荷用のポットに移植する際は、両品種とも9月中旬に花芽が抽台を始めるので、この頃までに移植作業を行う必要がある。



‘プリティピンク’



‘プリティパール’



‘ラクダ系’

表1 ‘プリティピンク’ および ‘プリティパール’ の特性

品種 特徴	‘プリティピンク’	‘プリティパール’	〈参考〉 ‘プリティルビー’	〈参考〉 栽培種‘ラクダ系’
花色	ピンク色	淡いピンク色	赤紫色	紫色
小花の数	約 40 個	約 40 個	約 50 個	約 20 個
花茎の長さ	約 15cm	約 15cm	約 40cm	約 30cm
用途	花壇苗・鉢物用	花壇苗・鉢物用	切り花用	食用(一部切花用)
開花期	11 月上旬～中旬	11 月上旬～中旬	10 月中旬 ～11 月上旬	10 月下旬 ～11 月上旬
出願日	2013 年 2 月 5 日	2013 年 2 月 5 日	2006 年 10 月 23 日	—
登録日	未定	未定	2009 年 7 月 31 日	—

### 3 普及の対象及び注意事項

#### (1) 普及の対象

県内全域

#### (2) 注意事項

花茎はネギコガ等による食害を受けやすいため、防除を徹底する。

‘プリティピンク’ および ‘プリティパール’ は品種登録出願中である。

### 4 試験担当者

〔 生物工学研究室      主任研究員 森本隆義 〕